



市大キャラクター
『ヨッチー』

平成 26 年度「学生が取り組む地域貢献活動支援事業」に 10 団体を採択 学生ならではの視点と行動力で 地域課題の解決に取り組みます

横浜市立大学は、文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」*の採択をきっかけに、地域で活躍できる人材の育成に注力しています。その一環として、平成 23 年度から実績を積み重ねている「学生が取り組む地域貢献活動支援事業」を推進します。

この事業は、「学部・大学院生活、課外活動などで取り組む地域に貢献する研究や活動により、学生が自主的な探求心、コミュニケーション力、積極的な行動力、チャレンジ精神を養うこと」を支援する助成金事業で、継続的に活動することにより、地域に定着している事業でもあります。

今年度は、過去最多の 13 団体の応募があり、審査の結果、10 団体の事業への助成金交付が決定しました。いずれの団体も学生ならではの視点と行動力で、活動に取り組んでいきます。

	団体名	事業名
1	フューチャーセンター ★	横浜市立大学フューチャーセッション
2	看護学科いのちの授業グループ	いのちの授業訪問事業
3	三輪ゼミ	保育所×地域一つながり力アップ・ワークショッププロジェクト
4	まちづくりコース鈴木ゼミ	安心・安全のまちを目指す地域住民の防犯意識向上
5	横浜橋通プロジェクト	横浜橋通商店街地域遺伝子発掘プロジェクト
6	W&C Health Support Group	横浜市内における健康教育のための出前教室
7	金沢研究会	金沢区に対する地域資源を活かしたまちづくりと研究調査活動
8	YDC	医学生・看護学生が創る『医療』教育
9	科学倶楽部 ★	中学生のための科学実験講座
10	KEEP	「食」から見える世界

★は新規応募団体 各事業の紹介は裏面に掲載

学生の活動の様子は、ホームページ等で随時ご紹介します。また、この活動の成果は、来年 2 月に公開で開催する成果発表会で報告します。

※ 文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」 自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目指す文部科学省の事業で、横浜市立大学は平成 25 年度 319 件の申請の中から 52 件のひとつとして採択されました。

平成 26 年度学生が取り組む地域貢献活動支援事業 採択事業の紹介

横浜市立大学フューチャーセッション★

問題意識

2013年12月13日に行われた横浜市立大学COC事業キックオフミーティング意見交換会、「地域ニーズと大学への期待」より、

金沢区の未来について市民、大学、企業が互いに知恵を出し合っていく必要があるのではないか？
それを実現するため私たちにできることはないか？

私たちはフューチャーセンターを開催し、
金沢区が生まれ変わるきっかけをつくります！

地域、大学、企業と異なる目線を持つ人々が共に金沢区の未来について考えることで、今までにない創造的なアイデアを出し、それを実行に移して金沢区を変えていくきっかけとするフューチャーセッションを開催する新規事業。

保育所×地域一つながり力アップ・ワークショッププロジェクト

(2013年12月14日)いっとき避難場所発掘 まちあるきWS@ピピピ



青葉区の保育施設で「おさんぼマップ」を作成するまちあるきのワークショップや防災の勉強会を通して、保育所と地域のつながりを創出する3年目の継続プロジェクト。

横浜橋通商店街地域遺産子発掘プロジェクト



高齢化・後継者問題をかかえる横浜橋通商店街の「地域遺産」をオーラルヒストリーやワークショップを通じて、地域住民・外国人住民に発見してもらい、活性化に結びつけようとするプロジェクト。

いのちの授業訪問事業

昨年度の実施内容

○母性看護学的アプローチが好評



横浜市内の小学校に看護学生が訪問して実施する「いのちの授業」で小学生に「いのちの大切さ」を学ぶ機会を提供。過去7年の実績を持ち、地域の小学校と密接にかかわりながら継続している。

安心・安全のまちを目指す地域住民の防犯意識向上



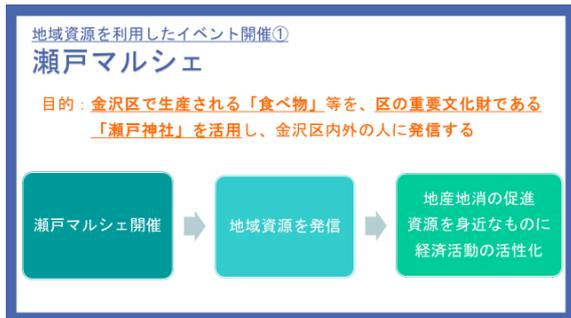
黄金町地区で地元協議会と協働運営するコガネックスラボを中心とした安心・安全のまちづくりの継続プロジェクト。防犯と人を呼び込むイベントとして昨年行った大岡川のライトアップ事業を今年度は一層充実させる。

横浜市内における健康教育のための出前教室

活動目標	本年度の予定
若い世代に対し、 ① 子宮頸がん全般にわたる正しい知識 ② 検診の必要性 ③ 感染症や生活習慣病等の知識 ④ 自分の健康を自分で守ること ↓ 自分や周囲の人々の健康に関して 自発的に 考え行動できるようになる	H26年 7月 ・ピアエデュケーターの育成 (講演会、学習会、模擬授業) 11月 ・青葉区内イベントでのがん検診啓発 ・大学祭でのブース展示 H27年 1月 ・金沢区小学校での出前教室 ・青葉区大学での出前教室 3月 ・次世代担い手への引継ぎ → 来年度以降の継続へ ※年間を通して青葉区からの依頼を受け、出前教室を開催する。

昨年度までの子宮頸がん啓発プロジェクトから発展させた、感染症ほか広く健康教育とらえた出前教室を行う看護学科の学生によるプロジェクト。青葉区と連携して取り組んでいる。

金沢区に対する地域資源を活かしたまちづくりと研究調査活動



金沢八景駅区画整理事業における空地を活用した「はちのば」、金沢区の地産地消を進める「瀬戸マルシェ」をはじめとして地域資源の魅力を広く発信し、活性化をはかるプロジェクト。

医学生・看護学生が創る『医療』教育

一昨年度より好評を博している 医学生による医療の授業



小中学生に医療の仕組みを教えることで、医療の適正利用を広めるプロジェクト。今まで多くの訪問授業を行っているが、健康福祉局と連携しながら「教材作り」を行うことでこの取組を広げる。

中学生のための科学実験講座★

目的&達成目標

- エクステンション講座「親子で楽しむ実験教室」は一昨年からはじまった活動であり、好評につき今年も開催日を2日に増やすことになっている。
- この講座を有効活用して、理科に興味のある中学生に、楽しい実験を通して理科学習の理解を深める場を提供し、その実験結果から原理や仕組みを考察、理解を促すことにより、今後使える知識を身につけてもらう。
- 最終的には、中学生が、自由研究などの自主活動に積極的に取り組み、夏には、「日本学生科学賞」や「木原こども科学賞」などに応募・受賞をめざすようになることとを目標とする。

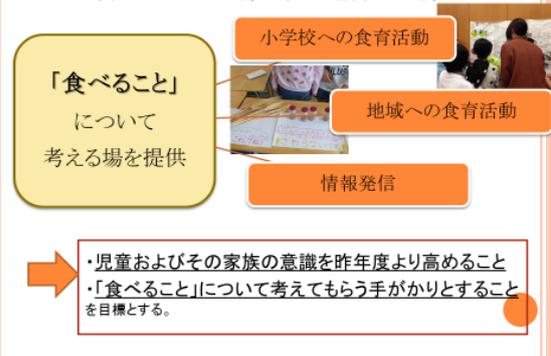
手段（実験内容）

- 第1日**
 - プロックリーのDNA抽出
 - カメラ作成
- 第2日**
 - 銅の酸化・還元
 - 銅と他の金属による炎色反応

横浜市立大学エクステンション講座（市民公開講座）で小学生の親子実験教室を企画実施してきた実績を踏まえ、中学生の実験教室と自由研究のアドバイスをを行うことにより科学への関心・意欲を高め、理系人材の育成につなげるプロジェクト。

「食」から見える世界

<事業の目的・効果・達成目標>



地域の小学校を対象に「食育推進」を目的に、木原のコムギを中心に製粉やうどん作りなど体験学習・調べ学習など、学校と連携して継続実施しているプロジェクト。